

「都城をさらに元気にしたい」。都城市内約1900の会員事業所を抱える、都城商工会議所の会頭に就任した。人口規模で県内第2の都市における経済振興の旗振り役に重責を感じつつ、地域の活力注入へ意欲を高める。父は元衆院議員で郵政、農林水産大臣を務めた故堀之内久男氏。苦勞ばかりの政治活動を、息子たちに託したいと口には出さなかつ

都城商工会議所会頭になった

ひむかの
ひと

ほりのうちひでき
堀之内秀樹さん

INTERVIEW



た。だが引退時には兄弟で話し合い、跡を継ぐ決意を伝えた。久男氏は心を打たれたが、別の後任を推す義を通じたという。

会頭を受けた理由の一つは、私心を捨て地域に尽くした父の背中を見てきたから。「都城のために」と、形は違えど思いは同じだ。地域発展のために描く構想が「北の鳥栖（佐賀）、南の都城」。

会頭を受けた理由の一つは、私心を捨て地域に尽くした父の背中を見てきたから。「都城のために」と、形は違えど思いは同じだ。地域発展のために描く構想が「北の鳥栖（佐賀）、南の都城」。

速道を介して、鹿児島、熊本などとアクセスしやすい「地の利」。物流拠点として発展した鳥栖市をモデルに、「都城をハブ化すれば、人流も生まれて地域活性につながる」と思いを明かす。商議所活動の柱である、中小企業などへの経営支援、まちづくりの推進などは当然進めるが、業種を超えた市内若手組織の連携にも取り組むたいとする。

新副会頭の3人は40代と50代前半で次代の都城を支える人材。「都城を代表する企業のトップで人格も申し分ない」と期待する。総合建設の都北産業社長。「好事魔多し」を格言に、調子がいい時こそ身を引き締める。趣味はゴルフやマリンスポーツ。都城市出身。妻陽子さん（65）、愛犬と同市花繰町で暮らす。72歳。

（三輪誠）